トラブルシューティング

このページでは特に使用頻度の高い機器についての不具合と簡単なトラブルシューティングをまとめてみました。　　視力表・オートレフケラトメーター・ノンコンタクトトノメーター・レンズメーター・光学台(←各項目をクリックしたら下記にとぶように)
解消されることもありますので参考にしてみて下さい。
※これはあくまでも一般的なチェック方法です。安全に正しくご使用いただくために、器械に付属の取扱説明書をお読み下さい。

まずは全ての機器について

● <u>**電源を入れても点灯しない**</u>

原因１　電源プラグが抜けている
対処　　電源プラグを差し直してみる
原因２　ヒューズがきれている
対処　　新しいヒューズに交換する

1)視力表（無線リモコン単点灯タイプ）

● <u>**指標が部分的に点灯しない**</u>

原因　　電球切れ
対処　　新しい電球に交換する

● <u>**リモコンの反応が鈍い、又は表示が変わらない**</u>
● <u>**液晶表示付のリモコンの表示が薄くなる**</u>

原因　　電池の消耗
対処　　全ての電池を新しい物(アルカリ)に変える

2)オートレフケラトメーター

- **<u>測定値の信頼性が低下している(機種によっては“CHECK MEASURING WINDOW”等のメッセージが表示される)</u>**

原因　測定窓が汚れている(指紋やほこり等の付着)

対処　1）測定窓のほこりをブロアーで吹き、取り除く

2）キズのつかないレンズクリーニングペーパーに水で薄めた中性洗剤、アルコール等(機種により溶剤に弱い材質を使用していることがありますので、クリーニング液につきましては、器械付属の取扱説明書を見て下さい)を浸して拭き上げる

- **<u>PD が表示されない(機種によっては“PD ERR”等のメッセージが表示される物もあります)</u>**

原因　PD 測定窓が汚れている(ほこり等の付着)

対処　PD 測定窓が塞がっていないか確認する(機種によりますが、被検者の顎台の下が測定窓になっていることが多い)

3)ノンコンタクトトノメーター

- **<u>測定値の信頼性が低下している(データーに※印が付くことが多くなる)</u>**

原因　　エアーノズル部(被検者に向けて空気のでるところ)が汚れている

対処　　１）エアーノズルのガラス部分のほこりをブロアーで吹き、取り除く

　　　　２）綿棒に水で薄めた中性洗剤を浸して拭き上げる

4)レンズメーター（オートタイプ）

● **<u>起動時にエラー表示がでる</u>**

原因１　　起動時にノーズピースの上にレンズなど何か物が置かれている

対処　　　ノーズピースの上に置かれている物を取り除いてから再度電源を入れ直す

原因２　　ノーズピースが傾いてセットされている

対処　　　ノーズピースをセットし直してから再度電源を入れ直す

原因３　　ノーズピース下の保護ガラスが汚れている

対処　　　ノーズピースを外して保護ガラスを清掃し、再度電源を入れ直す

5)光学台

● **<u>音なりがする</u>**

原因　　潤滑剤（グリス）が古くなったり、不足したりしている

対処１　専用のグリスガンを使用してグリス挿入口からグリスを圧入する(購入先に連絡)

対処２　対処１で解決しなければオーバーホール(購入先に連絡)